

令和4（2022）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	経済政策 (Economic Policy) 393114-14124					担当教員	太田 恵子 (オオタ ケイコ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	3年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型AL								

① 授業のねらい・概要									
本講義は、競争と経済効率、所得分配の公正、経済の安定と経済成長を目的として政府が行う経済政策について、その役割、社会経済にもたらす効果を含め、ミクロ経済学、マクロ経済学の基礎理論を適用して学ぶ。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
専門的知識・技能を活用する能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
授業前にその回の授業内容を確認し、講義ノートを整理・分析し、配布プリントを確認してくること。必ず復習をし、正解できなかった問題に関しては正解できなかった理由を十分考え、理解すること。 (1時間)									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
ミクロ経済学、マクロ経済学の単位を修得済み、もしくは科目の内容を理解し、同程度の知識を有していることが望ましい。									
⑤ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安									
(i) 経済政策の基礎を理解できる。市場機構における価格体系の理解のもと、公共財の機能、生産の効率、社会的厚生、などミクロ経済政策を理解できる。生産物市場と貨幣市場の均衡、完全雇用と市場利子率、物価、景気調整、財政政策と金融政策の効果、経済成長などマクロ経済政策を理解できる。									
(ii) 現実の社会経済現象に応用し、分析することができる。									
(iii) 政府の経済政策を理解し、評価することができる。									
⑥ テキスト (教科書)									
使用しない。表、グラフ等は板書をし、プリントを随時配布する。各自しっかり講義ノートをまとめること。									
⑦ 参考図書・指定図書									
奥野信宏ほか (最新版) 『公共経済学で日本を考える』、中央経済社									

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 経済政策の基礎的理解	経済政策を自力で理解・説明でき、授業内容を超えた学修成果を示している。	経済政策を自力で理解・説明でき、授業内容をよく理解している。	経済政策を理解でき、教員等の支援を受ければ説明できる。	経済政策を十分には理解できないが、教員等の支援を受ければ理解できる。	経済政策を、教員等の支援を受けても理解できない。
(ii) 現実の社会経済現象への応用と分析	授業内容を現実の社会経済現象に応用し、自力で分析をことができ、授業内容を超えた学修成果を示している。	授業内容を現実の社会経済現象に応用し、自力で分析をことができる。	授業内容を現実の社会経済現象に応用し、教員等の支援を受ければ説明することができる。	授業内容を現実の社会経済現象に応用して分析するには不十分だが、教員等の支援を受ければ、説明することができる。	授業内容を現実の社会経済現象に応用することは、教員等の支援を受けてもできない。
(iii) 政府の経済政策への理解と評価	政府の経済政策を理解して評価し、授業内容を超えた説明ができる。	政府の経済政策を理解して評価し、説明ができる。	政府の経済政策を理解して評価し、資料等を見ながら説明することができる。	政府の経済政策を理解して評価し、資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受け説明することができる。	政府の経済政策を理解して評価し、資料等を見ても、さらに教員等の支援を受けても説明することができない。

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	80%		10%			10%		100%
(i) 経済政策の基礎的理解	80%							80%
(ii) 社会経済への応用分析			10%					10%
(iii) 経済政策の理解と評価						10%		10%
フィードバックの方法	フィードバックの方法 授業への参加・意欲は、課した課題の答えを、学生自らが黒板に書き、教師が質問し、解説する。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）	
◆講義への出席が基本であり、授業中は集中して受講すること。	
◆積み重ねで学ぶので、欠席すると授業内容を理解するのが困難となる。	

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	経済政策の位置づけ	筆記用具、電卓、配布プリント 配布プリント、講義ノートの整理・ 分析、復習	60分
2	市場機構と公共財	筆記用具、電卓、配布プリント 講義ノートの整理・分析、配布プリ ントの予習・復習	60分
3	価格統制	筆記用具、電卓、配布プリント 講義ノートの整理・分析、配布プリ ントの予習・復習	60分
4	消費者余剰、生産者余剰、社会的余剰	筆記用具、電卓、配布課題 講義ノートの整理・分析、配布プリ ント、配布課題の予習・復習	60分
5	生産の効率と資源配分	筆記用具、電卓、配布プリント 講義ノートの整理・分析、配布プリ ントの予習・復習	60分
6	消費の効率とパレート最適	筆記用具、電卓、配布プリント 講義ノートの整理・分析、配布プリ ントの予習・復習	60分
7	社会的厚生	筆記用具、電卓、配布課題 講義ノートの整理・分析、配布プリ ント、配布課題の予習・復習	60分
8	所得格差と分配政策	筆記用具、電卓、配布プリント 講義ノートの整理・分析、配布プリ ントの予習・復習	60分
9	生産物市場とIS関数	筆記用具、電卓、配布プリント 講義ノートの整理・分析、配布プリ ントの予習・復習	60分
10	貨幣市場とLM関数	筆記用具、電卓、配布課題 講義ノートの整理・分析、配布プリ ント、配布課題の予習・復習	60分
11	IS・LM分析	筆記用具、電卓、配布プリント 講義ノートの整理・分析、配布プリ ントの予習・復習	60分
12	財政政策	筆記用具、電卓、配布プリント 講義ノートの整理・分析、配布プリ ントの予習・復習	60分
13	金融政策	筆記用具、電卓、配布プリント 講義ノートの整理・分析、配布プリ ントの予習・復習	60分

14	経済成長	筆記用具、電卓、配布課題 講義ノートの整理・分析、配布プリント、配布課題の予習・復習	60分
15	まとめ	筆記用具、電卓、配布模擬問題 講義ノートの整理・分析、配布模擬問題の予習・復習	60分

⑫ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型ALを採用する。練習問題の答えを学生が黒板に書き、教員が質問し要点を解説することによって、知識の確認と定着を目指す。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

埼玉県職員（主事）として4年余り勤務し、ふるさと埼玉の緑を守る条例に基づき指定した山林等の所有者に対して支払う奨励金に関して、その事務の簡素化・迅速化を図るため、システム仕様書、プログラム仕様書を作成し、これに基づきこの事務の電算システム化を完成させた。

実務経験と授業科目との関連性

講義を展開していく上で、事物を社会システムとしてとらえ、実務における行政、経済政策を事例としてとりあげることができる。